

(仮称)第3図書館建設推進懇談会第4回会議会議録

- (1) 議 題 報告事項
意見のまとめについて
協議事項
ア 複合施設について
イ 図書館の規模について
- (2) 開催日時 平成13年10月4日(木)午後1時30分~午後3時30分
- (3) 開催場所 宇都宮市役所議会棟3階第一委員会室
- (4) 出席者 (委員)中村清,石川文子,森野満,岡田豊子,小池清治,藤江夏江,
中山薫,北川君子,一藤美由紀,酒井昭二,轟蒔邦博,合原高志,
新田順一郎,米倉朗子
(事務局)高梨教育長,阿部教育次長,丹生生涯学習課長,
坂本生涯学習課長補佐,尾本市立図書館長,奈良部東図書館長,
渡辺総務担当主幹,刑部総務担当副主幹,高橋総務担当主査,
半田建設部参事,松本生涯学習課管理係長,岩本管理係総括主査
- (5) 公開・非公開の別 公開
- (6) 傍聴者の数 1人
- (7) 発言の要旨
- 1 開会
- (事務局) 只今から,(仮称)第3図書館建設推進懇談会の第4回会議を開会します。
本日は,斎藤委員,大高委員,宮下委員が欠席です。議事の進行は,中村会長
をお願いします。
- 2 報告
- (会長) それでは,議事に入りたいと思います。会議の終了は3時30分を予定して
おります。
報告事項,意見のまとめについて事務局から説明をお願いします。
(事務局説明)
- (会長) 前回までの会議で出た意見のまとめでした。図書館サービスのあり方,図書
館の特色を中心に,前回既に複合施設について少し話をしましたが,こ
れは今日改めてもう一度議論することとします。図書館サービスのあり方と図
書館の特色ということですが,ここで出たのを羅列するわけにもいかないと思
いますので,懇談会としてのまとめは必要である,意見の集約は必要だろうと
思います。その点について,事務局では考えはありますか。
- (事務局) ただいま報告書にまとめるまとめ方ということで,どんな意見の集約が必要
なのかというご質問ですが,まず懇談会として,意見の集約は必要であろうと

考えております。ただし、これまでの委員のご意見をお聞きした範囲では、まったくの対立した意見はなかったと理解しております。報告書のまとめ方についてですが、これまでの各委員のご意見は、大きくは、基本方針に関するご意見、それからそれに対する具体的な方策に関するご意見に分けられると考えます。具体的に申し上げますと、図書館サービスのあり方につきましては、週休2日制を前提にした図書館というご意見は、基本的考え方に属する意見であり、たとえば、子どもたちのための講座は基本的考え方に対する具体的方策として、関係してくる。また、インターネットでの検索というご意見は、第1回の時に国の設置運営基準でお示した、高度情報化社会における情報機能の充実のくくりで整理ができるのではないかと。さらに開館時間延長、司書の数というご意見は、サービス体制、運営方法の充実という基本的考え方の中に、具体的ご意見という形で組み込まれるのではないかと。蔵書上の特色ですが、現在の雀宮公民館図書室の貸出状況、それから雀宮地区における青少年育成活動、読み聞かせの会、また、子育てサークルにおける活動が非常に活発な地域というような現状を踏まえ、児童関連図書の重点的収集を基本的考え方にしまして、具体的方策として、童話コーナーの設置、青少年が活用できる本などというご意見を具体的な方策に集約していくことで整理ができるのではないかと。また、地元作家の作品を収集していくというご意見も具体的方策として、整理できるのではないかと。また、建築・機能上の特色に関しては、交通の便利なところ、子どもが来られるところなどの立地条件に関するご意見がございました。それから、フロアの広さ、木の使用、部屋の仕切りとか、遮音性、また、環境配慮をした建築をというようなご意見は環境面に関するご意見というくくり、さらには、自然採光や車椅子等建築上に関するご意見にまとめるという整理ができるかと思っております。また、運営上の特色についても、地域住民が運営に参加できるようなボランティア組織の活用というようなご意見を基本的な考え方として、整理ができるかと思っております。いずれにしましても、報告書には、委員の皆様の意見をベースにしまして、そこに肉付けをしていくという形でまとめたいと考えております。

(会長) 前回までの意見とその意見の集約の仕方についての一つの考え方を説明していただきました。以上の点でなにか質問なりご意見はございませんか。

(小池委員) 蔵書収集上の特色で、児童関連図書を中心にしていくのは賛成です。宇都宮と関わりの深い百人一首関係の本のコーナーを欲しい。

(会長) その他なにかありませんか。よろしいでしょうか。それでは、次回に素案が出ますので、それを見てご意見をいただくことにします。それでは、報告事項は以上で終わりにして、協議にまいります。

3 協議

(会長) 本日は、複合施設についてと図書館の規模について、二つテーマがあります。資料は、一括されているようでありますので、両方について事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

(1) 複合施設について

(会長) まず、(1) 複合施設についてご意見をいただきたいと思います。あれこれ意見がでておりますけれども、意見がまとまらないというのも困るという感じがしていますので、事務局として、意見のたたき台になるものを出していただいてそれを素材にして皆さんの意見をいただいたらどうか。よろしいでしょうか。それでは、複合施設について、事務局でどのような考えがあるかお聞かせください。

(事務局) 前回の会議で複合に係わるご意見も出ておりました。皆様の意見も踏まえ、事務局としては、複合施設として、300～400人の収容の多目的ホール及び会議室にも利用できる練習室を提案させていただきたいと思います。地区の拠点施設として、住民の交流の活性化、文化活動、地域コミュニティといったものの発展に寄与できる施設が一つ目の理由、二つ目では、先ほど資料3で説明しました南部地域には人口に対してホールの面積が少ない、という数字も出ておりました。そういうことをご提案させていただきますが、ご意見を頂戴できればと思います。

(会長) 事務局では、300～400人収容の多目的ホールと会議室等に使える練習室がいいのではないかとというのが、提案です。何かご意見があればお願いします。

(小池委員) 鹿沼市に情報センターがあります。5階建てで一番上に多目的ホールがあります。150人位のいい会議室になり、講演会などもできます。係の人に聞いてみたら、補助金がでるので、情報センターにしたということです。市や県でやっているパソコン教室は恒常的に開いていかなければいけないと思う。そういう意味もあり、第3図書館の複合施設としては、情報センターをぜひとも入れていただきたい。補助金の関係もあって資金的にも有利になる。

もう一つは、いただいた資料で岐阜市は特徴があるということでしたが、特徴の一つが、ここだけが生涯学習センターが複合施設で、まとめの中にも生涯学習センターという意見がありますので、情報センターと生涯学習センターの二つを複合施設として希望です。

(会長) 情報センターと生涯学習センターという希望があります。何か事務局の方でお考えはありますか。

(事務局) ただいまのご提案ですが、市の方として、ある程度、方向性を持っている部分がございます。ひとつは、公民館をこれから生涯学習センター化して、そちらで宇都宮市の生涯学習を中心的に進めていこうという考えがございます。例

例えば中央公民館を中央生涯学習センター，東西南北のブロック公民館を市街地生涯学習センター，雀宮公民館を雀宮地区生涯学習センターというふうに名称を改称するなどして，これまでの公民館機能プラス生涯学習の機能を付加してこれから十年を目指して，宇都宮市の生涯学習をやっていこうということで，現在第2次生涯学習推進計画を策定中でございます。この計画の中でそういう方向性で生涯学習センターを整備していこうという状況がございます。もう一点，情報センターにつきましては，現在宇都宮市には市庁舎の1階の部分に情報センターというのがございまして，そちらで集中的に本市の情報を収集提供という形で市民の方にも利用いただいております。私どもで生涯学習関連の情報については，各公民館等にマナビスというタッチパネル式の端末で情報を見られるシステムを構築しております。情報センターにつきましては，情報政策課で全市的な情報センターの今後のあり方というようなものを検討することになっておりますので，今提案のありました情報センターを組み込んでほしいというご提案が，採用できるかどうかわからないものですから，調べて回答させていただきたい。

(森野委員) 300人～400人の多目的ホールは非常にいいと思います。地域の発表会とかで使うのに，なかなか施設がない現状ですから，非常に有効的に活用できるだろうと思います。ただ，最低でも音響と照明的なものは，プラスされないといけないだろうと思います。単にスペースだけのものでは，利用する側は困難であろうと思います。どんな発表をする場合でも，当然練習はしなければなりませんので，練習室はぜひ欲しいと思います。それと楽器が付随します。すくなくともピアノ位は置いていただきたい。座席を可動式にするのも非常にいいと思います。文化面ばかりでない部分で活用があると思います。

(新田委員) 多目的ホールとか複合施設を作るのでしたら，少し大きくして，民間活力をうまく取り入れたらどうでしょう。中途半端に作って市の方でも大変だ，それから地域の人たちもあまり活用してくれない，ということも中途半端だとそういう面もでてくると思う。だったら，いっそのことみんな利用して商業施設を豊田の図書館みたいに，取り入れるといったことも，設計図の中に取り入れて良いのではないか。

(事務局) 豊田市の施設は，再開発事業ということで，中核的な事業があって，できあがった施設であると聞いております。それぞれ施設の作る場所ですとか，その位置付けがございまして，いろいろ問題はあろうかと考えております。

(酒井委員) 多目的ホールは，当初から意見が出ており，ぜひ組み込んでいただきたいと思っています。それから生涯学習センターとか，情報センターとか必須のものだと思います。それから住民の地域活動がこれから良い意味で盛んになっていくだろうと思います。住民が地域活動をするために集まっているいろいろ相談をし

て、意見交換をしてやるという、地域活動推進センターみたいな機能も欲しいと思います。部屋だけあれば良いのかもしれませんが、それなりの新しいアイデアの部分があればありがたい。無料で二つ三つのグループがディスカッションできるようなものが欲しいと思います。そこに行けば、いろいろなものが揃っていて、すぐに始まるというような地域活動推進センターだと思います。

(事務局) 限られた市の予算で作るという中で、現在雀宮地区市民センターがございませう。あちらの方とこれから造る図書館の多目的ホールについては、使用目的を異にしてもよろしいのかと思います。地区市民センターについては、地域活動の推進の拠点というようなことをご活用いただきたい。第3図書館につきましては、図書館それからもちろんコミュニティ的機能も付加されますが、そういう意味での多目的ホールということではいかがかなと考えております。使用料のお話をとりましても、これは全市的な地域間の公平性も考慮すべきものでございませう。その辺はこれからの検討と考えております。

(酒井委員) 地域活動推進センターは、新設の図書館の複合でなくとも、今あるところをある程度整備してそういうものができれば、結構です。場所としては、今の雀宮公民館の方が住民は集まりやすいのではないかと思います。

(森野委員) 雀宮地区に自衛隊があります。騒音の問題ですが、補助のことはお考えだと思いますが、防音装置的なものもある程度考えておかなければいけないのではないかと。

(酒井委員) 同感です。防音装置は防衛庁の補助を使っていた方が良いでしょう。

(小池委員) ホールの音響、照明、ピアノなど洋楽を予定しているが、指導要領が変わって、和楽器を教材として使うということになり、和楽器を使用する機会が増えてくると思う。その他、お茶とか、お花とか和室が雀宮地区では欠けていると思う。地区市民センターで1室ありますけれども、手狭です。そういうものができる和室また水周りも備えていただきたい。和楽器関係、和室を希望します。

(合原委員) 任意団体がすごく盛んなところですよ。切実に思っているのは、拠点がなくてです。図書館の複合施設にもし無理ならば、今ある公民館が学習センターに変われば何か裏付け的なものをしていただきたい。任意団体の活動というのはずっと継続していくわけですよ。僕らの団体も40年位やっているんですけども、書類の置き場もないようなのが実態ですよ。今、中学生のグループを集めていますけれども、公民館のホールとかで活動させているんですけど、部屋の使用料は減免措置でご配慮いただけるんですけど、常時来ればその部屋に誰かそこにいるように、活用できる部屋が欲しい。

(新田委員) 複合施設を大きくして、その一部にNPOとかボランティア団体とか入れる形にすれば良いんじゃないかと。小さい規模の公民館とかいった施設を何箇所か作るのだったら、まとめってしまった方が経費も安く済むのではないかと。

(藤井委員) 和室を用意された場合に、随分お茶のグループも多いので、水屋などしっかりした茶室が用意されるとありがたいと思う。調理室が使いづらくて、とても不便です。吉川市に行ったときに、家庭の調理室の調理台を少し大きくしたようなものをメインに二つあって、お話ししながらちょっとしたものはできるという話だった。そんなものもあったら良いと思う。

(北川委員) 視覚障害の方は点字とテープに吹き込んだ音声だけしかないので、テープを聞く時の個室を、作っていただけたらと思います。

(一藤委員) 市立図書館には、グループ研究室とそこを利用している団体が共同で使う倉庫がございます。今度できる図書館にもグループ研究室とそこを利用する団体のものを置く倉庫があれば、ありがたいと思います。

(米倉委員) 資料の中に週休2日制を前提にする図書館をコンセプトとするとあったのですが、子育てをしている者にはありがたい。複合の中に児童館というのがあって、児童館が宇都宮市にあるけれども、車ではいけないし、市の中心にあるということで、なかなか雀宮地区の人は利用できない。今年始めに子育てサークルのリーダーの人たちが集まって、市長との懇談会があった時に宇都宮の南の地区には児童館みたいな施設は無いし、外で遊べない時に遊べるような児童館が欲しいと雀宮地区とか姿川とかの留守家庭サークルのリーダーの方がおっしゃっていた。できたら児童館みたいな施設、あと子育てサロンの南部地域の拠点を持って来ていただけるととてもありがたい。図書館にそういう施設もあると子どもたちも足を運びやすいと思います。

(会長) いろいろ意見が出てきましたけれども、話をまとめて事務局の方でコメントすることはありますか。

(事務局) 皆様方のご意見を中心に次回の素案作りの中に盛り込ませていただきたいと思います。できるもの、できないものはあるかと思えます。こういうご意見があったということは、報告書の中に入れて良い部分があるかと思えます。

(会長) どうしても制約がありますので、優先順位を付けるとか、なにか必要があるかと思えます。たたき台が出たところで、そういう話はすることにします。

(2) 図書館の規模について

(会長) (1) 複合施設につきましては、これくらいにしておきまして、(2) の図書館の規模の方に話を移したいと思います。規模について事務局の方でお考えがあるとします。これをまずお聞きしたいと思います。

(事務局) 規模につきましては、対象エリア、対象エリアに含まれる対象人口、図書館登録者の割合などを踏まえて、床面積を出して行く計算式がございます。先ほど市立図書館については、4,700 m²余、東図書館については、4,500 m²ということでご説明しましたが、それと同程度もしくは、少し小規模位になると考えております。これは図書館の部分ということで、複合の相手それから敷地等の関

係で面積は、変動すると考えております。

(会長) 事務局の説明では現在ある図書館と同等もしくはそれより小規模、それから人口と登録者の割合で床面積は、決まるとのことです。現在の図書館の部屋の構成、広さを参考にして第3図書館について、どういう部屋が欲しいか、どういう広さのものが必要であるか、ご意見をいただければと思います。

(新田委員) 市町村合併の話が出ております。そういったことも視野に入れての南部の図書館という考え方を今から持っていた方が良いのではないかという気がする。

(事務局) 考え方としては、そういうものも必要な部分はあると思います。現在宇都宮市では、4市12町と協議会を作っており、お互いに図書館を利用できるようにシステムを作っております。9月の議会でも、たとえば近隣4市12町の共通の図書貸出カードを作れないか、宇都宮の雀宮の図書館で借りたものを上三川の図書館で返せないか、そういうご提案もいただいております。上三川と宇都宮が合併した場合には、上三川の図書館はあれで図書館機能がりっぱに果たせませす。要は大きなものでなく、離れたところのリンクをどのようにして均一のサービスができるということをひとつの課題にして、やってはいかがかと考えている。

(合原委員) さっき、面積は対象のエリア、人口に係わるとおっしゃいました。雀宮の特殊性は南の玄関と最初の時に言ったと思います。石橋、上三川、壬生が、経済的にもつながっている。姿川なんか、雀宮というところに宿場町ですから集まってくるところがある。クリンパークを見ても周辺の町のごみもみんなあそこに来ている。自衛隊の基地が二つある。対象人員は、部屋も図書も、いろいろな方が利用することも考えられます。すぐ町が三つも四つもつながっている。そういうことも面積を広くする要因ということで、進めていただければありがたい。資金面でもいろいろなことをやろうとしたら、ものすごくかかると思うんですが、防衛施設周辺整備法でもいいし、情報センターの話もありましたけれども、どっかの省が持っているんだしたら、そういう予算を引っ張り出してやる。雀宮で作った場合は、多分拠点になると思う。将来を見据えるともう少し大きいりっぱなものを考えて、最大限努力していただきたい。

(新田委員) 壬生、石橋、上三川それから南部地区を考えると、雀宮が中心になってもおかしくない。そういった構想を今から持つ必要があるのではないか。

(事務局) 基本的には宇都宮市の行政財産となり、皆様からの血税でもって作るという施設になりますので、まず、サービスの対象につきましては、宇都宮市の市民をまず第1になろうかと思います。広域行政ということで、クリンパーク茂原の場合は、負担金という形で建設についてもお金をいただいて作っている施設かと思えます。第3図書館は、市民の皆様、雀宮、南部地区の方々へのサービスという位置付けで作ります。隣接している町もございますので、お互いに

図書館を使っていたくというサービスは今後とも継続していくことを基本的に考えております。

(酒井委員) 我々は大きいことを望みたい。4,500 m²は図書館分だけで、複合が入ればプラスアルファですか。そんなイメージであります。

(会長) 規模、施設も具体的に建築場所があって決まってくるところがあるでしょうから、図書館の立地条件について、事務局でお考えがあれば、ご提示いただければと思います。

(事務局) 立地条件ということで、こちらで考えている条件をお示ししたいと思います。一つ目は、人口が張り付いている、もしくはこれから張り付こうとするところ。二つ目に、子どもやお年寄りも利用しやすい利便性、交通の便等を考慮する。三つ目に、できれば土地が正形である。四つ目に、他の公共施設との相乗効果が図れるような場所、そういった条件を満たす用地が望ましいと考えております。日本図書館協会という社団法人の公共図書館建築マニュアルでこんなことを言っております。立地条件として、実際の位置を決める際、駅、商店街の位置、道路状況、住民の生活動線を考慮してください。つまり誰でも出かけたついでに立ち寄れることができる便利な場所がなによりも望ましい。公園の中の静かな場所である必要は少しも無い。こういうことを言っている大学教授もございます。そういったのも参考としながら、先ほどの四つの条件を満たすような場所を選定したいと思っております。

(会長) 立地条件について、説明がありました。先ほどの施設の規模、内容に立地条件を加えて何かご意見があればお出しください。

(小池委員) 市立図書館、東図書館は地下1階地上3階で4階建てですが、今回の図書館では同じようなことを考えておりますか。吉川市の図書館は、1階部分が図書館で2階が複合施設でした。1階は図書館で、2階にホールとか会議室とかを、3階では細くて使いづらい気がする。

(事務局) 高さにつきましては、用途地域という区分けで高さの制限が決まっております。用地をどこに求めるかで高さが決まる。

(小池委員) 希望は広々ということです。

(一藤委員) 雀宮公民館図書室からあまり離れていないところにできれば良い。

(小池委員) 雀宮東小学校の周りだったら可能です。

(酒井委員) 雀宮地区で宇都宮市に地域希望というのを出したのですが、駅の東側の用地開発を希望した。自衛隊の飛行場があるため、3階建ては制限される。広いところで精々2階建て、駐車場もたっぷり取れば良いと思います。東側というのは、かつて意見を出したということであって、これにはこだわってはおりません。

(中山委員) マナーをきちんとした、基礎的なものを育てていただける場所にしていただ

けたら学校としてはありがたいと考えております。

喫茶コーナーとかレストランとかは考えているのですか。

(事務局) 9月の一般質問で議員から飲食が取れるようなところも作ってはどうか、質問がございました。私どもとしては、取り組んでいきたい。

(会長) よろしいでしょうか。さらに第1第2の議題について言い残しているものがあればこの際出していただいて結構です。

(一藤委員) 良い図書館というのは、そこに働いている職員にとっても、使いやすい図書館だと思いますので、現在の職員の方々のご意見をできたら取り入れていただければ良いと思います。

(岡田委員) 複合化施設を考えていただく場合に、吉川市の図書館で気になったんですけども、集まってくる人が待機している場所がない。建物がおしゃれに作ってあるけれども、狭いところで子どもたちがお弁当を食べているとか、ちょっとしたことをする場所が意外にない。隅の有効利用というのではないが、ちょっとしたスペースを考えるだけでなんでも使える。たとえば階段もそこで食事をして良いというような発想を取り入れると、使えるので、そういうところは考えていただきたいと思います。

(藤井委員) 東京から雀宮神社までが100kmです。場所を選ぶ時に、その範囲内で土地が見つかると思う。

(小池委員) 建築場所として東口を考えているが、その時、困るのは、JR駅に東口が無い。ですから、図書館をそちらに作るとすれば、JRに働きかけて東口を作ってもらわないといけないと思う。この懇談会の範囲を超えるので、希望です。

(酒井委員) それもこの間、市長への要望事項に入れてだしました。県会議員によると可能性があるようなことを言っておりました。

(小池委員) 開発するには、絶対必要です。

(酒井委員) 西側と東側の地下通路がないと行き来ができない。

(小池委員) 今、踏み切りでどうしようもない渋滞です。

(酒井委員) JRを高架にするかという話も聞いたことがある。それは夢のような話です。

(小池委員) ずっと先のことになるかも知れませんが、吉川市の図書館にモニュメントがあった。モニュメントを作るなら、県立図書館の動く彫刻ですか、ああいうものができればと思う。新宮晋という動く彫刻の作家は、世界的に有名なので、この人に頼めるかどうかわかりませんが、りっぱな、20年、50年先に誇れるモニュメントをぜひとも予算を取っていただきたいと思っています。希望です。

(新田委員) エスカレーターを作ってもらいたい。お年より、身体障害者の方などは、階段を上がっていくのは非常に大変です。そうかといって、エレベーターを待っていると、もし仲間と一緒に来た場合には、はぐれるということにもなりかね

ません。エスカレーターであれば問題はすべて解決ができると思います。イベントの時でも迅速に行動できる。

(石川委員) インターネットとかITなどを活用するということで、広く広くというのはわかるのですが、節約できる場所については、最新のITとか活用して、有効に使っていったらいいのではないかと思います。

(一藤委員) 維持管理するのは大変なので、建物はシンプルで維持管理する方に予算を回して欲しい。あと人件費の方に回していただければと思います。

(藤井委員) 博多に行った時にエスカレーターに乗ろうと思ったら止まっていた。近寄って行ったらセンサーで動いた。駅でもどこでも、人も乗っていないのに動いていて、もったいないと思うので、いろいろな面でセンサーを取り入れていただければありがたいと思う。

(新田委員) 民間の施設のエスカレーターはそういうのが多い。

(合原委員) 人が集まるホールは、防災上も防犯上も下の方にあるべきだと思う。地積が問題です。東地区にもっていけばなんぼでもある。総合的に検討して最大限の努力をお願いします。

(靄蒔委員) いろいろな公共施設を見ますと無機的な感じがする。埼玉の方に伺った時にも感じたんですけども、中に潤いがない気がする。目の悪い方が点字ブロックの上を歩いてくるわけですが、どうしてあれは、1本なんでしょうか。あなたたちはここしか歩いてはだめだよという感じがします。もっと自由な形で歩ける場所を確保してあげるというような方法も必要ではないかと思います。視聴覚室ですが、オープンスペースにすると異様に見える。あれは一人一つのイヤホンなのでしょう。複数の方が同時に見られるような調整も必要でないかという気がします。それからもう一つ、埼玉の方を見た時に、車椅子で図書館に入ってきた方ですけども、検索するシステムが一つしかなかった。健常者だけではなく、そういう方が一緒に見られる、閲覧できる場所をもっと増やして良いのではないかと。受付にありますから、それは大丈夫という話だったんですけども、受付にあればそれで良いという問題ではないと思う。

(事務局) 視聴覚資料の部分ですが、同じ物を見たい場合には、3人一緒で見られるような装置になっております。

障害者の対応ですが、これから作る公共施設の基本的な考え方の一つに障害者の方にやさしい、バリアフリーの考え方が一つのコンセプトになっております。第3図書館についてもそういうような視点で進めたいと思います。

(森野委員) 雀宮にふさわしい建物と出ております。当然コンペであろうと思いますが、形より機能優先という施設にぜひして欲しいと思います。コンペをやりますと、いろいろなものがでてくるわけですが、たとえば、ドーム型とか遠くから見ると極めて格好良いですけども、維持管理はどうしようもない。機能重点に審

査を考えているでしょうけれども、そういう中でなお雀宮にふさわしいものが欲しいと思う。

(一藤委員) 複合のところ、以前郷土歴史資料館という意見が出た時に、学芸員を配置できないので、そこまでは難しいだろうということだった。もしそれが無理であれば、雀宮地区にある古墳などの写真を常設でパネル展示をしていただければ、雀宮はこんな地域だとわかるのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。また次回にたたき台が出てまいりますので、その時に意見をいただくとして、今日はこれで終わりとします。

3 その他

(会長) その他に入りまして、今後の日程等について、事務局からお願いします。

(事務局) 次回、第5回目になりますが、11月13日(火)午後1時30分から本日と同じ議会の第一委員会室でございます。報告書の素案をお示ししたいと考えております。5回で終了ということでしたが、2回目に視察が入りました関係上、12月頃に第6回目を予定しております。そして最終の意見を取りまとめたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

4 閉会

(会長) それでは、本日の審議を終わります。